

## 令和元年度 第1回健康づくり支援部会 議事録(案)

日 時：令和元年 10 月 25 日（金）20 時 10 分～21 時 10 分

場 所：市役所本庁舎 10 階 第 4 会議室

### 会議次第

- 1 開会
- 2 会議
  - (1) 前回会議の議事録(案)の確認
  - (2) 平成30年度 健康推進課決算について
  - (2) 平成30年度 保健事業について
  - (2) 第二期けんこう帯広21の進捗について
  - (3) その他
- 3 閉会

出席委員： 阿部厚憲委員、吉村典子委員、山本勝弘委員、金須俊雄委員、前田玲専門委員  
岸田智子専門委員

欠席： 角谷巍啓専門委員、小川誠専門委員

事務局： 五十嵐保健福祉センター館長、野原課長補佐、岩佐主査

### ○事務局

お晩でございます。ただいまから、令和元年度第1回健康づくり支援部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席は、健康づくり支援部会委員8名中、6名のご出席をいただいております、出席人数が委員の過半数を超えていますことから、本日の部会は成立しております。

これより議事の進行につきましては、阿部部会長にお願いいたします。どうぞよろしく願います。

### ○部会長

それでは、会議に入らせていただきます。

最初に、前回会議の議事録(案)の確認について議題といたします。確認していただいた中で意見はありますか。

### ○委員

特にありません。

### ○部会長

それでは、議事録は案のとおり了承されました。

次に、平成30年度健康推進課決算について議題といたします。

事務局から、説明願います。

## ○事務局

はじめに資料の訂正があります。

資料 1 中、保健衛生総務費内の項目に「食・運動改善推進費」と「すこやかネット事業費（臨時）」がありますが、両項目の前年度決算対比を表す矢印が逆になっていました。新しい資料を配付しておりますので、こちらを使用してください。

それでは、資料 1 平成 30 年度健康推進課決算の概要について、ご説明させていただきます。

総事業費は 9 億 6,117 万 3,008 円でございます。

内訳ですが、資料左側、「保健衛生総務費」は決算額 2 億 7,834 万 3,425 円となっております。主な事業といたしましては、「保健衛生推進費」として健康まつりの運営費の負担、難病連十勝支部の事業への補助、健康づくりガイド作成、AED 賃貸借、心身障害者歯科治療費補助など、「食・運動改善推進費」として食生活改善推進員と健康づくり推進員の養成及び育成、各種教室の開催等、「公衆浴場対策費」として市内の公衆浴場の確保と活性化のための各種事業への補助、ふれあい銭湯事業補助等を実施いたしました。

次に「訪問看護促進費」として、北海道総合在宅医療ケア事業団の会費、「健康増進センター管理費」として大正と川西の健康増進センターの運営管理、「看護師等養成機関確保対策費」として十勝管内 19 市町村で運営している高等看護学院の運営費分担金、市内に 2 か所ある看護師養成機関に対する補助等、「帯広厚生病院運営費補助事業費」として管内 19 市町村による帯広厚生病院の運営支援、すこやかネット事業などを実施しました。

次に、資料中央の「予防費」につきましては、決算額 5 億 1,785 万 328 円となっております。主な事業といたしまして、「がん検診、健康診査費」として各種がん検診、肝炎ウイルス検診、市民健康診査、骨粗しょう検診等に要する経費など、「予防接種費」として各種定期の予防接種費用、「感染症予防費」として 65 歳以上の高齢者等及び中学 3 年生、高校 3 年生に対する季節性インフルエンザ予防接種、高齢者等に対する成人用肺炎球菌ワクチン予防接種、エキノコックス症検査を実施しております。

また「結核予防費」として結核検診、「健康相談費」として保健師や栄養士などによる相談、「健康教育費」として各種健康講座、スマートライフプロジェクトの推進を行いました。

また、「自殺対策事業」として生きるを支える連携会議の開催や、総合相談会の実施、「訪問保健指導費」として保健師の個別訪問による保健指導などを実施しました。

次に、「夜間急病診療費」は、決算額 1 億 2,420 万 6,731 円でございます。主な事業といたしましては、「休日夜間急病センター管理運営費」として指定管理による休日夜間急病センターの管理運営を行っているものです。平成 29 年度から利用料金制が導入され、平成 28 年度までは市の歳入となっていた診察料は、指定管理者が収納し運用されております。

次に、「救急医療対策費」として在宅当番、二次救急医療、休日歯科診療業務、急病テレホンセンターなどの運営の委託、小児救急医療の補助を行ったものです。

最後に「保健福祉センター費」は、決算額 4,077 万 2,524 円となっております。

数字横の矢印表記は、前年度決算対比での増減を表しております。太い矢印の 5%～10%未満と、10%以上の増減につきまして、ご説明いたします。

まず、左上の保健衛生推進費につきましては、8.5%ほどの増となっております。こちらは、

昨年度開催されました、日本・ホスピス在宅ケア研究会全国大会 in とかちに対し、100万円の開催地補助を行ったことによる増となっております。

次に健康増進センター管理費は、5.5%ほどの減となっております。こちらの要因は主に、昨年度降雪が少なかったことによる、除雪費用の不用額が発生したためとなっております。

続いて帯広厚生病院運営費補助は、約 5.7%の増となっております。こちらは、算定基礎となる特別交付税単価の増によるものです。

次のすこやかネット事業費は、平成 29 年度は事業の構築のため 2,880 万円ほどの決算額でありましたが、平成 30 年度は、システム保守や運用の委託料のみとなったため、決算額が減となっているものです。マイナンバーカード自体の普及が、8.9%の交付率にとどまっており、すこやかネットへの登録は、平成 31 年 3 月末現在、40 名となっておりますが、アクセス数は 2 万 3,307 件となっているものです。

次に、健康相談費については、主に嘱託栄養士の報酬を計上しているもので、大きな変動はありませんが、消耗品や燃料費が約 5 万円減っていることにより、8.3%ほどの減となりました。

次の自殺対策費については、平成 29 年度に帯広市自殺対策計画（第二期けんこう帯広 2 1 改訂版）を国のモデル事業を活用して策定したことから、217 万円余りの決算額となっております。このため前年度対比としては、大きく減少しているものです。

最後に、休日夜間急病センター管理運営費は、12%ほどの減となっております。こちらの主な要因といたしましては、昨年末のインフルエンザの流行による患者数の増加により、診療報酬が増えましたが、指定管理者が公益財団法人である性格上、運営において利潤が生じないよう、指定管理料の一部返還があったためとなっております。

以上、平成 30 年度決算の概要でございます。

#### ○部会長

よろしいでしょうか。質問はいかがですか。

総事業費の決算で考えたら、平成 29 年度の決算に比べてどうなっていますか？

#### ○事務局

29 年度が 9 億 9,003 万 2,218 円ですので少し減少しています。

#### ○部会長

休日夜間急病センターは、患者が増えたら事業収入となるため、掛かる人が増加すると市の負担は減るようになっていきます。今のところは順調だという報告でした。

#### ○委員

帯広市以外の方が患者として来ていただいた方がよいのですか。

#### ○部会長

それは一概に言えず難しいです。各町村にも同じような機能を持つ病院があるわけで、町村から帯広市の休日夜間急病センターにはお金は出ていないのです。

## ○事務局

インフルエンザが流行するなど患者の増減で病院としての収入が変わってくることになりま  
す。

## ○事務局

平成30年度保健事業についてご説明いたします。

資料2の1ページ目の「1.保健福祉センターの利用状況」をご覧ください。(1)事業等の利  
用状況であります。平成29年度に比べ、平成30年度は利用件数で約8%、利用者数は約9%  
の減となっております。健康まつりや保育まつりの参加者減やリラクゼーション室における事  
業縮小による利用者の減、乳幼児のプレイルーム利用者の減等が主な要因となっております。(2)  
の各種相談の利用状況では、相談内容により多少の増減はありますが、合計では例年より500  
人程度の増となっております。

次に、「2.感染症などの予防」をご覧ください。(1)予防接種の実施状況は、ご覧のとおりと  
なっております。(2)結核検診の受診者数は、概ね昨年度と同様となっております。

次に、2ページ目をご覧ください。(3)インフルエンザ予防接種の状況ですが、中3、高3  
と65歳以上の高齢者等に対する接種事業を実施し、実績は記載のとおりとなっております。  
(4)成人用肺炎球菌予防接種は、平成26年度10月に開始となり65歳以上5歳刻みの年齢の  
高齢者を対象に実施しています。対象年齢がわかりづらいことから対象者へ個別に周知してい  
ます。実績は記載のとおりでございます。(5)エキノコックス症検診の実施状況については、  
小中学生についてはほぼ横ばい、一般については昨年度よりは下回りましたが、平成28年度  
との比較では、1.3倍ほど受診者が増加している状況でございます。

次に2ページ目中段、「3.生活習慣病の予防」でございます。(1)健康教育の実施状況では、  
働き盛りの人への健康づくりを進め企業からの依頼が多いのですが、昨年度との比較ではほぼ  
横ばいとなっております。(2)健康づくり講座・教室では、表のとおりの実業を実施してきてお  
ります。糖尿病重症化予防の保健指導につきましては、平成29年度から実施方法を変更し、  
平成28年度と比較すると大きく減っています。(3)健康相談につきましても、ほぼ横ばいと  
なっております。

続いて、3ページをご覧ください。(4)訪問指導につきましては、平成28年度と29年度の  
訪問者数から減となっております。(5)各種検診の実施状況は、受診者数はご覧のとおりとな  
っております。(6)市民健診・健康診査の保健指導は、記載のとおりとなっております。(7)  
検診・検査の実施状況、健診事後指導については、平成30年度から、文書による受診勧奨を  
強化したため、増加しています。このうち電話による勧奨分は、平成30年度220件となっ  
ており、前年度と対比して若干の増となっているものです。

4ページをご覧ください。「4.自殺対策」につきまして、30年度は計画策定後、新たに取り組  
みを始めたところですので。このうち、上から3段目のゲートキーパー研修会・講座の参加者につ  
いては、平成29年度456人から平成30年度22人となっております。この理由として、平成  
29年度には民生委員を対象とした養成講座を実施し、300人余りの出席をいただいたことによ  
り、単年度の参加者が大きく伸びたことからこのような差となっているところです。

最後に、「5.救急医療体制に関する実施状況」であります。帯広市では、夜間・休日等にお  
ける医療不安の解消と急病患者に対処するため、休日夜間急病センター運営事業や医療機関の

協力をいただき、在宅当番医制や二次救急医療体制を確立しております。利用状況等につきましては、ご覧のとおりです。このうち、(4) 急病テレホンセンター案内状況のうち、職員対応が伸びております。

平成 30 年度保健事業についての説明は、以上でございます。

○部会長

以上の報告ですが、質問やご意見がある方はいらっしゃいますか。

○委員

3 ページ目の訪問指導とは具体的に何をしているのですか。

○事務局

対象の方の自宅に訪問等をして、生活習慣病の予防のための検査結果の説明、心の健康に関する相談、保健サービスの情報提供を行うものです。保健師や看護師が自宅に訪問させていただいて保健指導を行っています。

多くは特定健康診査の受診者で事後指導が必要な方ですが、がん検診の受診者で事後指導が必要な方にも訪問しています。

○委員

訪問以外でも相談できるのか。どういう時に相談に行けばよいのか。

○事務局

保健福祉センターに来ていただく場合は、健康相談や面接という形で行っています。来館か訪問かは、対象の方の状況に合わせて決めています。

○委員

利用状況の部分で、保健福祉センターの有料と無料の区分を教えてください。

○事務局

貸館、部屋を使用する場合は使用料が必要で、検診を受ける際は検診料等のお金がかかります。

そのほかの事業は無料になります。

○委員

グリーンプラザでは、登録された団体は無料でそれ以外は有料となっている。

○事務局

保健福祉センターではそのような区分はないです。

○委員

保健福祉センターは、2 か月先までしか予約を取ることが出来ないので使い勝手が悪いと思う。計画が立てづらくなっている。ほかの施設は違うようだが、理由はあるのですか。

○事務局

保健事業を優先して部屋を確保する必要があり、先に予約を受けてしまうと事業の実施に支障があるためこのようになっています。

ただ、そのような状況があることをご意見として伺います。

○委員

子宮頸がんワクチンの実績はどのように考えたらよいのか。どのような理由で4名の方がワクチン接種をしたかというのは把握していますか。

○事務局

保護者の希望により受けたという方です。

国の方では積極的な勧奨はしない方針で、ただ受けた人は受けられる体制は整えています。

○委員

家族に接種対象者がいると、受けようかなという話になるのでしょうか。

○部会長

学会では子宮頸がんワクチンの予防接種を行うべきだと意見が出ています。先進国では70～80%の接種率の中、日本だけが低くなっています。副作用もマスコミで言われたようなことは、ワクチンが原因だと証明されませんでした。

ワクチンは確実に予防につながると思いますので、行政としても積極的に周知してほしいです。

○事務局

がんのSMRという値ですが、子宮がんの死亡者を全国を100とした場合に帯広市は119.4となりますので全国平均よりは高い状況になります。

亡くなる前に発見することが大切だと考えていますので、20歳になったらがん検診を受診していただきたいです。

○部会長

すい臓がんなどほかのがんも十勝は死亡率が高くなっています。この原因についてはわかっていないというのが事実になります。

○委員

市民健康診査の受診者数が少ないと思いました。どのような状況か詳しく聞きたいのですが。

○事務局

ここは、35歳から39歳までの市民の方が受けたもののみが計上されていますので、この数字になっています。

○委員

ことばの教室はどんな人が利用されているのですが。どのような相談があるのですか。

○事務局

保健福祉センターの3階のことばの教室は、社会福祉協議会に委託して行っている事業です。ことばの発達に不安や相談があるお子さんと保護者が来て指導を行っています。

○部会長

他に、質問等なければ質疑を終了します。

次に、第二期けんこう帯広21の進捗について議題といたします。事務局から説明願います。

○事務局

資料3をご覧ください。第二期けんこう帯広21は、平成29年度に中間評価を行いこの部会において承認いただき、30年4月から改訂版の取組がスタートしております。評価指標は重点の指標とライフステージ別の指標があり、毎年進捗を確認するものと最終年度に確認するものがあります。30年度の実績については、太線で囲んであり、ベースライン値からみて目標値に近づいているものを◎、離れているものを▼で示しています。

まず、重点の指標でございます。1 糖尿病の指標については、1 の糖尿病性腎症による新規透析導入患者数の減少については6人で昨年度と同様となっています。血糖コントロール不良者は女性で若干増えています。メタボリックシンドロームの該当者は男女とも増えており、目標に近づいていない結果となっています。特定健診の受診率が高まっていますが、特定保健指導率は減っているという結果でした。2 がん対策における指標については、前年度と比較して全て受診率は低下しておりますが、ベースライン値からは確実に上昇しております。3 こころの健康に関する指標におきましては、自殺者数は人口10万対の自殺者数が17.9人で目標値よりも低い結果となっています。

次に、ライフステージ別の指標についてです。1 妊娠中やこどもの頃の健康については、低出生体重児は前年と比較し減少していますが平成22年との比較では多い現状であります。飲酒や喫煙をする妊婦は、前年と比較し減少しており、3歳児のう歯のない率についても改善しています。2 のこども世代の健康では、軽度肥満傾向にある学童は12.4%で目標値の7.0%にはまだ遠い結果となっていますが、12歳児の一人平均う歯数は0.9本となっております。3 社会環境の整備としてスマートライフプロジェクトに賛同する企業団体の数は中間評価で目標値を修正し、最終年度の目標を100か所としておりますが30年度実績では68か所となっております。4 栄養食生活では、野菜の摂取量については増加となっています。5 歯・口腔の健康については、40歳代における進行した歯周炎を有する人は横ばい、35～44歳で喪失歯のない人は増加しております。60歳代における進行した歯周炎を有する人は減少しております。表の右側に、市の主な取組について担当関係課で行

っているものを掲載してございます。

第二期けんこう帯広21についての報告は、以上です。

○部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

糖尿病性腎症については、なかなか0にならない。しかし、以前に比べれば減少しているのは、糖尿病の方が減っているからでしょう。

野菜の摂取量はいも類などの糖質の高いものは入っているのですか。

○事務局

いも類は野菜から除かれています。

○部会長

他に質問等なければ、質疑を終了いたします。

最後に、その他として委員の皆様、事務局から何かございますか？

○委員

資料の送付はもう少し早くなりませんか。

資料の量が多くしっかり確認するためにはある程度時間をいただきたいと思います。

○事務局

はい。確認をさせていただきます。

もう一点、資料4をご覧ください。前回2月の部会で、がん対策推進条例が4月1日から施行されることについてお伝えしました。条例の考え方として全ての市民が共に力を合わせ、一体となって取組をすすめることとなっています。そこで、帯広市のがん対策の概要について、法律や条例、計画の関連性をわかりやすくしてみました。

①については、国、道、帯広市がもつ条例や計画の位置づけです。それぞれが役割分担をしながら進めています。②については、条例と計画の関連性をイメージしたものです。具体的な取組をわかりやすく記載していますので、参考までに情報提供させていただきました。

説明は以上でございます。

○部会長

その他、連絡事項は何かありますか。

○事務局

次回の健康づくり支援部会は、健康生活支援審議会の実施もありますので、部会長と相談のうえ、改めてご案内をさせていただきますのでよろしく申し上げます。

○部会長

それでは、以上で予定されている議事は終了いたしました。

本日は、これで閉会といたします。お疲れ様でした。